



□ 基本的な考え……20年後の清水地区（日本）のための教育を！

学校教育目標

思いやりの心を持ち、何事にも進んで取り組み、たくましく生き抜く力を備えた清水の子の育成を目指す。

I 学校の役割…学校は家庭（私）とは異なり、学習をする場所（公）であることを理解する。

① **学習の場**＝文化の伝承を行う

② **社会性を培う場**＝**私＜公** を学ぶ＝社会の規則を知る・学ぶ・守る

→①②を学ばせるために「納得させる」＝「教え込む教育」が必要なこともある。
子供に指導する場合は、子供が理解（納得）するまで説明する。

II 協育協働の気持ちをもつ

一人だけで考えるのではなく、一人一人がアイデアを出し合って「課題を解決」していく姿勢をもつ。＝「**1人の10歩よりも10人の1歩**」

→**情報は組織の血液**＝情報の共有化＝「報連相」の強化

III 目指す学校像…「アジサイの花」学校＝清水小学校全体で美しい花を咲かせたい。

<楽しい学校>＝向上心のある学校

○相手の目を見て「あいさつ」「返事」ができる子供・職員＝人権の基礎

○相手の顔を見てうなずきながら話を聞く。

<明るい学校>

○一人一人に居場所のある学校＝子供も職員も！

→皆が安心して生活できるために、安心できるルールがある学校を目指す。

学習規律をしっかり浸透させる。

<開かれた学校>

○地域があって学校がある。地域に認めてもらう学校

→地域行事に職員も可能な限り積極的に参加したい。

IV めざす子供像⇒『**気づき、考え、行動できる子**』を育てる＝知識＜知恵＜**心**

◇（し）しっかり考える子 （知育）・・・知識・技能

◇（み）自らよく行う子 （徳育）・・・思考力・判断力・行動力

◇（ず）すこやかな子 （体育）・・・学びに向かう力・人間性等

V めざす教師像⇒「**子供の成長を語り合う職員団**」＝職員全員で子供を育てる

◇子供と共にある教師（共に遊び、共に学び、共に喜ぶ）

◇自ら学び続ける教師（子供に、地域に、同僚に学ぶ）

◇明るく朗らかな教師（あいさつ、笑顔、感謝を忘れず）